

カルト化被害事例

下記の事例は、実際にあったいくつかの事実に基づいたフィクションであり、固有名詞のアルファベットも、実際とは異なる仮名となっています。

下記の事例は一例です。

下記事例以外に、カルト化対策の専門家に寄せられた実例をもとに11種類94項目にまとめた、**詳細な「教会健康度チェックリスト」**がありますので、ご希望の方は、問い合わせフォームかメールに用途と“「教会健康度チェックリスト」希望”と記して、CVSAにお申し込みください（無料）。

フォーム：https://ochibo.sakura.ne.jp/cvsa-quest/contact/quest_c.htm

E-mail：christ-sien★cvsa.jp（★を@に変更して送付ください。）

【事例1】

K牧師のワンマンな発言や行き過ぎた行動に悩んでいたAさん、ある時、K牧師に「こういう見方もあるのではないですか？」と質問したところ、K牧師は「私は特別に神から選ばれた者であり、神の代弁者です。もし牧師が弱さにより間違いを犯していたとしても、信徒はそれを愛によって覆うものです。ノアの息子のうち、泥酔した父親の裸の恥を覆ったセムとヤペテは覆って祝福を受けたが、覆わず言いふらしたハムは呪いを受けたのです。」とAさんに告げた。

もやもやしたAさんが、K牧師に理解を得ようと話をしに出向いたところ、K牧師は、聖書のみことばを告げた。「神に選ばれた人々を訴えるのはだれですか。神が義と認めてくださるのです。罪に定めようとするのはだれですか。」（ローマ 8:33, 34）

「あなたはいったいだれなので、他人のしもべをさばくのですか。しもべが立つのも倒れるのも、その主人の心次第です。このしもべは立つのです。なぜなら、主には、彼を立たせることができるからです。」（ローマ 14:4）

Aさんは、決して裁いているのではないと根気強く伝えようとしたが、K牧師は声を荒げ、「私の言葉を『でも』と言ってくること自体が反抗的なのだ。もう来ないように」と吐き捨て、去っていった。

困惑したAさんが教会の他のスタッフに相談しようとしたが、同じようにK牧師が引用したみことばを語られ、「聖書にこう書いてあるでしょう。悔い改めさい。」と言われたのだった。

これ以降、ローマ人への手紙のみことばを聞くと、Aさんは動機やめまいがするようになり、教会に行けなくなってしまった。

【事例2】

Bさんが行っている教会が属するM教団では、「祈りと伝道はクリスチャンならば、なさなくてはならない神の至上命令である。」とよくメッセージなどで強調されていた。それは関連教会でも言われていることであった。

教会の集まりで、食事に行った時は、お祈りをする人が立ち上がり、周囲に聞こえる声で食前の祈りを捧げていた。

「私は、祈りに多くの時間を費やしています。電車の中でも声に出して異言で祈ります。私のように皆さんも祈れば恵みを受けます。」と証として礼拝で語られた。

M牧師は、祈りや伝道のためによく山に行っていて、ある時、「疲れて休むところがないかと探したら、アパートの空き部屋があり、鍵が空いていた。主の恵みで泊まる事ができた。」と言っていた。

よく伝道をしていると語っている人がいたが、その人のやっていることは、公衆の路上でマイク片手にさばきと地獄関係のみことばを延々と語っているのであった。

これらのことを恥ずかしいとかよくないことなどと思うようなことを言ったならば、信仰がない人と言われた。

Bさんは何をどのように言おうと、歩み寄れないことを感じ取り、その教会を退会した。

その後、Bさんがいた教会には、近隣から苦情が多く寄せられていることや職務質問を受けている人がいることを人づてに聞いたのであった。教会では迫害だと言っていた内容であったが、迷惑行為であることを知り、多方面からの話を聴くことが必要であることを知ったのであった。

【事例3】

小さい時に教会学校に行っていたことのあるCさんは、友人に誘われて近所で開かれていた家庭集會に集うようになり、P教会で受洗した。P教会は信徒数も多く大きな会堂もあり、信徒会の交わりも充実していた。

ある時、他の教団の教会を出てきたという近所のAさんが、家族でP教会にやってきた。P教会には複数の牧師がいたが、主任牧師のP牧師は、他教会（特にAさんのいた教団）が大嫌いであった。P牧師は、Aさんと接した信徒には、「Aさんは何かしませんでしたか？」と電話等で確認していた。そのためか、そのことを知っている信徒はAさんと距離を置いていた。

近所づきあいもあるため、Cさんは、Aさんと自然に話すようになり、友人づきあいをするようになった。そうしているうちに、だんだん、Aさんの信仰から励まされるようもなっていた。P教会で親しく接してくれる人が他にいなかったAさんにとっても、Cさんは大切な存在となっていた。

しばらくして、P牧師が「Aさんには、悪霊がついているから注意するように。」と他の信徒に言っているのを、Cさんが知った。Cさんは数日祈って、勇気をふりしぼってP牧師のもとに行き、「Aさんは悪い人ではありません。『悪霊がついている』というのは、どういうことがあって言われているか教えていただけないでしょうか？」と尋ねてみた。P牧師の答えは、「CさんもAさんと接して変わったね。前は口答えするような人ではなかったはずだが。牧師が黒いものを『白だ』と言えば、信徒は白と言えばいいんだよ。」であった。

困惑したCさんは、しばらくしてAさんとともにP教会を後にした。